



「生命・財産を守る組織体制と 施設装備の整備」



氷川町長
藤本 一臣

あけましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政運営ならびに地区づくり活動に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、次々に台風が襲来し、時間雨量105ミリを観測する大雨が降り、特に7月の台風3号によりまして、吉野梨の落下およびイチゴ単棟ハウスなどの倒壊の被害が発生し、それぞれの対応に苦労があったものと拝察いたします。

また、熊本地震から1年8ヶ月が過ぎ、被災した建物のうち約350棟の解体がほぼ完了いたしましたものの、未だに応急仮設住宅およびみなし仮設住宅における避難生活を余儀なくされている皆さまが多数おられますので、社会福祉協議会に設置した支え合いセンターを核に今後とも支援を継続し、一日も早く平穏な生活に戻ることを最優先に職員とともに全力を傾注して取り組んでまいります。

このように何時如何なる不測の事態が起きるかもしれないという現状を鑑み、町では、平成28年度から平成30年度までの三年計画で、「地区別防災計画の策定」を進めています。この計画には、災害時の住民の役割分担や連絡態勢、事業所や個人宅にある防災資機材の一覧、災害に強い地域づくりの目標を盛り込み、その具現化に向けた防災訓練などを実施することとしています。

また、防災行政無線のデジタル化も併せて進めており、平成29年度で防災無線を備えた危機管理室の建設、平成30年度に屋外施設の整備、平成31年度に全世帯の戸別受信機の更新を行います。

さらに、平成30年4月の供用開始をめざして、国道3号沿いに鏡消防署氷川分署(仮称)の建設が進んでいます。新たにできる氷川分署には、高規格救急車、タンク付き消防ポンプ自動車、指令車を配備し、職員13人体制で運用する予定です。

今後とも町民の皆さまの生命・財産を守る組織体制並びに必要な施設装備の整備を着実に進めてまいりたいと考えています。

氷川町誕生から13年目を迎えますが、合併の真価が問われる時期を迎え、現在取り組んでおります「地方創生総合戦略事業」ならびに策定中の「第二次氷川町総合振興計画」を目標に掲げ、公平・公正・公明な行政運営を行い、町民の皆さまに元気を、地域に活力を取り戻し、『安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可

能な田園都市・氷川』を創造するため、私もその先導役を果たすべく、全身全霊を傾注し、誠心誠意努力してまいりる所存でございます。

これからも町議会をはじめ町民の皆さまのご理解と



氷川町議会議長
上田 健一

新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族お揃いで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年10月の町議会議員選挙後の議会構成で、議長の指名を頂きました上田健一です。議員は、住民全体の代表者であり奉仕者であるという事を肝に銘じ、また、議員間のコミュニケーションを取り議会運営を行ってまいります。町民の皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。

昨年、平成28年4月の熊本地震の復興、復旧も取り組んでおりますが、全体の復興には至っておりません。今後も全力で取り組んでまいります。町民の皆さまの安全、安心で暮らせる町を作るために、八代広域行政事務組合鏡消防署氷川分署（仮称）も平成30年3月に

ご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が皆さまにとりましても氷川町にとりましても更に飛躍する最良の年でありますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

は完成予定ですし、役場庁舎内には危機管理室も増築中であり、今後の防災行政無線デジタル化更新などが完了し稼働すればさらに安全、安心な環境が整います。平成30年度の課題として、宮原地区の下水道の八代北部流域下水道への加入にあたり、協議を進めていく必要があります。竜北地区では、氷川排水機場の更新と導水路の更新事業が継続中であり、早期の完成が必要です。

基幹産業であります農業においては、経営安定化のための集団営農組合の法人化、施設園芸の基盤強化、商工業においては活気のある町づくりを目指し、議員一同全力で取り組んでまいります。

議会としましても、地域社会における課題や変革を的確に捉え、対応実現に努力していくことが責務であると思っております。

本年も活力ある豊かな町づくりを目指し、誠心誠意取り組んでまいりますので、皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新年が皆さまにとりまして光り輝く年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。